

低炭素アスファルト舗装（中温化技術）用バインダー（改質H型系）

エバーフィックスW

昭和瀝青工業株式会社

エバーフィックス W は、ポーラスアスファルト混合物の混合・締固め温度を 30℃程度低減できる機能を有する改質 H 型相当のプレミックスタイプのバインダーです。エバーフィックス W は、混合物製造時の燃料消費量を抑制し、二酸化炭素（CO₂）の排出量が削減できるため、地球環境保全に貢献します。また、施工温度域が広いいため、施工性の改善が必要な舗装工事にも適用できます。

特徴

1. ポーラスアスファルト混合物の製造温度を 30℃程度低減できます。
2. アスファルトプラントの燃料消費量や二酸化炭素（CO₂）排出量の低減が可能です。
3. 温度低減機能の持続性があるので、施工性の改善ができます。
4. プレミックスタイプのため、プラントミックスタイプの添加材と比べて投入手間が省けます。
5. バインダーおよび混合物の性状は、改質 H 型とほぼ同等です。
6. 施工は通常の機械編成で行えます。

適用

1. 環境負荷軽減対策が要求される舗装工事
2. 交通開放時間の短縮が必要な現場の舗装工事
3. 夜間、冬場、その他施工性改善が必要な場合

温度低減効果

通常の改質 H 型（エバーフィックス）の所定の温度から 30℃低い温度で締固めても、99.5%の締固度と良好な混合物性状が得られます。（図-1、表-1）

適用上の留意点

1. 配合設計は通常の改質 H 型に準じます。
2. 中温化施工温度の目安を以下に示します。
 混合温度：135～150℃
 敷均し温度：130℃以上
 初転圧温度：120℃以上
 交通開放温度：50℃以下

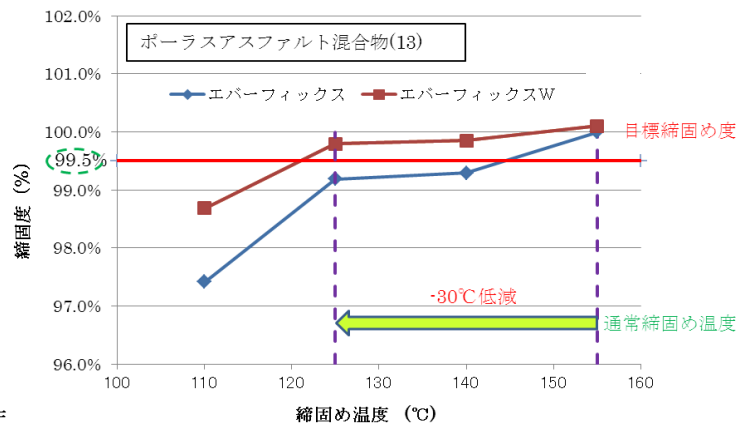


図-1 マーシャル締固め温度と締固度の関係 (例)

〔 締固度：エバーフィックスの所定の締固め温度（155℃）時の
密度に対する割合 〕

表-1 混合物性状比較 (例)

〔 混合物種：ポーラス混合物（13） 〕

| 項目 | エバーフィックスW | エバーフィックス | 目標値 |
|-------------------------|-----------|----------|--------|
| バインダー量 (%) | 4.9 | 4.9 | |
| 温度 (°C) | | | |
| 混合 | 145 | 175 | |
| 締固め | 125 | 155 | |
| マーシャル | | | |
| 密度 (g/cm ³) | 1.999 | 2.003 | |
| 空隙率 (%) | 20.4 | 20.2 | 20程度 |
| 安定度 (kN) | 4.03 | 4.82 | 3.43以上 |
| 残留安定度 (%) | 94 | 93 | 75以上 |
| 動的安定度 (回/mm) | 5250 | 7875 | 3000以上 |
| 20℃カンタブロ損失率 (%) | 10.6 | 10.2 | 20以下 |